

## 電子県庁基幹システム再開発及び運用保守業務落札者決定基準

企画提案の評価にあたり、提案内容を公平かつ客観的に評価し、最適な事業者を選定するために、価格面及び技術面の2つの観点で評価する。

### 1 基本的な考え方

落札者の決定にあたっては、本県にとって最適な事業者を選定するため、価格に関する提案の評価及び技術的能力に関する提案の評価による総合評価方式を採用し、合計評価点の最も高い入札／提案者を落札者とする。

ただし「機能要件確認一覧表」（資料3－1）の必須区分について、1つでも対応不可の項目があった者は失格とし、企画提案書の審査は行わない。

#### （1）評価得点の配点及び割合

入札書（提案見積）に記載された金額（以下、「入札金額」という。）の得点（以下、「価格評価点」という。）及び企画提案書に係る各評価項目の得点の合計（以下、「技術評価点」という。）の配点並びにこれらの割合は、次のとおりとする。

$\begin{aligned} \text{価格評価点} 400 \text{ 点} + \text{技術評価点} 1,200 \text{ 点} &= \text{総合評価点} 1,600 \text{ 点} \\ (\text{価格評価点} : \text{技術評価点} &= 1 : 3) \end{aligned}$
---

#### （2）総合評価の方法及び落札者の決定方法

山口県会計規則（昭和39年山口県規則第54号）第154条の規定に基づき定められた予定価格の制限の範囲内で、「価格評価点」及び「技術評価点」の合計点数が最も高く、かつ、有効な入札を行った者を落札者とする。

なお、技術評価点が600点（配点の5割）に満たない者は失格とし、次点の者を以って落札者とする。

#### （3）有効数字

「価格評価点」及び「技術評価点」の算出にあたっては、小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で四捨五入するものとする。

#### （4）総合評価点の最も高い者が2人以上あるとき（同点のとき）の対応

ア 入札者それぞれの「価格評価点」、「技術評価点」が異なる場合

→ 「技術評価点」が高い者を落札者とする。

イ 入札者それぞれの「価格評価点」「技術評価点」が同じ場合

→ 入札価格が低い者を落札者とする。

ウ 入札者それぞれの「価格評価点」「技術評価点」「入札価格」が同じ場合

→ くじにより落札を決定するものとする。

## 2 価格評価点（最高得点：400点）

入札者の価格評価点は、提案見積に基づいて以下の式で算定する。

$$\text{価格評価点} = 800 \text{点} \times \left( 1 - \frac{\text{入札者の入札金額}}{\text{入札予定価格}} \right)$$

※「入札者の入札金額／入札予定価格」算出にあたっては、小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で四捨五入する

なお、算定の結果、最高得点を超えた場合は一律400点として扱うものとする。

## 3 技術評価点（最高得点：1,200点）

### （1）評価方法

- ア 「総合評価一般競争入札に係る競争入札等審査会（以下、「審査会」という。）」において、会長及び各委員（以下、「各委員等」という。）が評価表の評価項目に基づき、企画提案書の各評価項目をA、B、C、D、Eの5段階の評価段階で評価する。
- イ 各委員等が評価を行った各項目の評価点の平均を項目平均評価点とする。
- ウ 各項目平均評価点の総合計を技術評価点とする。
- エ 各項目平均評価点は小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で四捨五入して算出する。

### （2）評価項目及び評価点数

技術評価点の評価項目及び評価点数の配分については、次の表のとおりとする。

評価項目 (大項目)	評価項目 (小項目)	点数配分
1 全体計画及び取組の要件	1-1 提案の趣旨	320点
	1-2 計画の策定	
	1-3 システムの移行対応	
	1-4 データの移行対応	
	1-5 プロジェクト管理	
	1-6 ライフサイクルコストの低減	
	1-7 サービスの品質保証	
	1-8 互換性の要件	
	1-9 セキュリティ対策	
	1-10 業務に従事する者の経験及び資格等	
2 非機能要件	2-1 システムの概要	170点
	2-2 システムの拡張性及び柔軟性	
	2-3 端末機器の管理	
	2-4 開発・運用体制	
	2-5 システムの運用・保守	

3 職員認証基盤システム	3-1 システムの概要	110点
	3-2 実現の方法	
	3-3 類似するシステムの導入または開発の実績等	
	3-4 シングルサインオンの実現	
4 職員ポータルシステム	4-1 システムの概要	90点
	4-2 実現の方法	
	4-3 類似するシステムの導入又は開発の実績等	
5 サービス連携基盤システム	5-1 システムの概要	90点
	5-2 実現の方法	
	5-3 類似するシステムの導入又は開発の実績等	
6 総務事務システム	6-1 システムの概要	90点
	6-2 実現の方法	
	6-3 類似するシステムの導入又は開発の実績等	
7 旅費システム	7-1 システムの概要	100点
	7-2 実現の方法	
	7-3 類似するシステムの導入又は開発の実績等	
	7-4 チケットデリバリーシステム	
8 地理情報システム	8-1 システムの概要	90点
	8-2 実現の方法	
	8-3 類似するシステムの導入又は開発の実績等	
9 文書管理システム及び情報公開システム	9-1 システムの概要	90点
	9-2 実現の方法	
	9-3 類似するシステムの導入又は開発の実績等	
10 その他	10-1 本件業務における山口県への提案について	50点
合 計		1,200点

### (3) 評価点の考え方

#### ア 評価区分の設定

評価表に定める各評価項目に対して、本県が求めるレベルに応じ、次の評価区分を設定するものとする。

評価区分	説明
一般事項	システム再構築を実施するにあたって最低限要求される事項
標準事項	システム再構築を実施するにあたって通常要求される事項
重要事項	システム再構築の実施するにあたって重視される事項
最重要事項	システム再構築を実施するにあたって特に重視される事項
特別事項	仕様書に定められていないが県にとって有益となる事項

#### イ 各評価項目の得点

評価区分及び評価段階に応じて下表のとおり設定するものとする。

評価段階	評価内容
A	提案内容が非常に優れている
B	提案内容が優れている
C	提案内容が妥当である
D	提案内容が劣っている
E	提案内容が非常に劣っている

#### <評価区分／評価段階ごとの項目評価点>

評価区分	倍率	評価段階別項目評価点				
		A	B	C	D	E
一般事項	× 1	10点	8点	6点	4点	0点
標準事項	× 2	20点	16点	12点	8点	0点
重要事項	× 3	30点	24点	18点	12点	0点
最重要事項	× 4	40点	32点	24点	16点	0点
特別事項	× 5	50点	40点	30点	20点	0点

○一般事項の「A：10点」「B：8点」「C：6点」「D：4点」「E：0点」を基準とし、評価区分の段階を上げるにあたり×2、×3と倍率によって項目評価点を設定

### (4) 評価の観点

各委員等は、評価表に記載する「評価の視点」に基づき、企画提案書に記載された提案内容を評価項目ごとに評価するものとする。

## 4 審査会の各委員等について

本業務に係る審査会の各委員等は次のとおりとする。

なお、各委員等は、審査会の会議に関する権限を自身が所属する職員に委任することができるものとし、また、必要に応じて任期を延長できるものとする。

役職	当該職員等	任期
委員長	総合企画部デジタル推進局 デジタル・ガバメント推進課長	令和7年4月1日～同年6月15日
委員	総務部人事課副課長	令和7年4月1日～同年6月15日
委員	総務部給与厚生課副課長	令和7年4月1日～同年6月15日
委員	教育庁教育政策課副課長	令和7年4月1日～同年6月15日
委員	教育庁教職員課副課長	令和7年4月1日～同年6月15日
委員	教育庁義務教育課副課長	令和7年4月1日～同年6月15日
委員	警察本部情報技術推進課次長	令和7年4月1日～同年6月15日